



2026年10月10日
第67号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

イーハトーブ

10月10日号

1964年10月10日、東京オリンピックの開会式が行われた。オリンピックは平和の祭典と呼ばれているが1984年のロサンゼルス大会以降商業化し、様々な利権を生み出している。一方で、国力の誇示・外交的アピールなど国威発揚に使われた。「ヒトラーのオリンピック」と呼ばれた1936年のベルリンオリンピックは様々な仕掛けをつくり、今に続く聖火リレーもその一つである。日本はベルリンの次である1940年大会を招致したが、日中戦争の拡大により開催権を返上した過去がある。オリンピックに限らず、スポーツはときに国威発揚の装置として使われた歴史を見なければならぬ。

先日、愛知県名古屋市でアジア最大のスポーツの祭典と言われたアジア競技大会が開催された。連日、テレビ放映され視聴した方も多かったと思う。その中で気になったことがひとつある。韓国では金メダルを獲得すれば兵役が免除になると言われていたことだ。オリンピックや競技大会は本来、スポーツを通じて人の成長と相互理解・平和的な交流をめざすことが謳われている。人間の尊厳を大切にしながら平和な社会の推進にスポーツを役立てることも説明されている。スポーツを兵役免除の道具に使うのはその精神に逆行していると思う。

お互いの努力を競技で競い合い、終わればお互いの健闘を称え合え、それがスポーツ本来の姿ではないかと、改めて10月10日を迎えて、思いを馳せている。

(K.S.)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという思いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。